

千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科、糖尿病・代謝・内分泌内科で臨床研究に参加された患者の皆様へ

2025年9月26日

アレルギー・膠原病内科

千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科では、全身性エリテマトーデス患者における治療修飾を含めた統合的 $IFN\alpha$ 誘導制御メカニズムの解明に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

- 2020年3月26日から2021年9月30日に実施された「全身性エリテマトーデス患者の経時的な血中および尿中のサイトカインプロファイルと臨床病型、病勢指標との関連解析」に参加され、将来の研究への試料・情報の利用及び提供に同意された方
- 2020年11月25日から実施されている「膠原病、膠原病類縁疾患ならびにアレルギー性疾患の病態解明のためのバイオレポジトリ構築」に参加され、将来の研究への試料・情報の利用及び提供に同意された方
- 2021年10月25日から実施されている「副腎内分泌疾患の病態解明のための摘出組織・血液の保存」に参加され、将来の研究への試料・情報の利用及び提供に同意された方

1. 研究課題名

「全身性エリテマトーデス患者における治療修飾を含めた統合的 $IFN\alpha$ 誘導制御メカニズムの解明」

2. 研究期間

2025年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

この研究は、自分の免疫力が自分の体を攻撃してしまうことで皮膚や関節、肺、腎臓などの全身の臓器に炎症が生じる病気である全身性エリテマトーデスの成り立ちを明らかにしようとするものです。全身性エリテマトーデスでは、インターフェロン α という物質が血中で多くなることがわかっていますが、なぜ増えてしまうのかということに関してはわかっていないません。この研究では多くの方にご協力をいただき、全身性エリテマトーデスの方と他の自己免疫性疾患でステロイドや免疫抑制剤により治療を受けている方、そして自然にしてステロイドホルモンが過剰になってしまふ病気（クッシング症候群）の方で、どういう仕組みでインターフェロン α が過剰に產生されるのかを明らかにしたいと考えています。保存された血液中に含まれるインターフェロン α などの免疫現象に与えるタンパク質を測定し、病気の重症度や罹患している臓器の種類、一般的な検査項目の値が、インターフェロン α 濃度に影響するかどうかを調べます。この研究の結果により、全身性エリテマトーデスの発症などのインターフェロン α が病気の重要な役割を果たしている疾患の予防や、最適な治療法の選択、新しい治療法の開発などに発展していくことが期待されます。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究ではあなたのカルテから抽出した情報（年齢、性別、飲酒・喫煙などの生活歴、疾患名、併用薬やステロイドの投与歴や投与量、免疫抑制剤の種類とその投与量、既往歴、疾患活動性に関する情報、生化学検査、血液学的検査、尿検査などの臨床検査結果と以前の臨床研究で測定した検査結果を使用します。また保存してある血液検体を使用します。この研究に参加することにより負担が増えることはありません。

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：アレルギー・膠原病内科 講師 岩田 有史

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どな

たのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがあります、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

アレルギー・膠原病内科 講師 岩田有史

043(222)7171 内線5531